

小学校 生活科1年生 「アサガオで押し花を作ってプレゼントしよう」

作成者：学校法人清明学園 初等部 教諭 酒井隆光

- 対象者・人数：小学校第1学年 40名
- 所要時間：1時間30分から2時間（実作業70分）
- 対象場所：教室
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント2名
- 資材

<押し花作り>

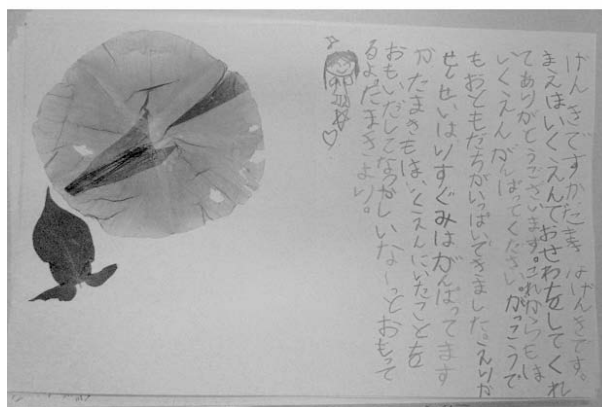
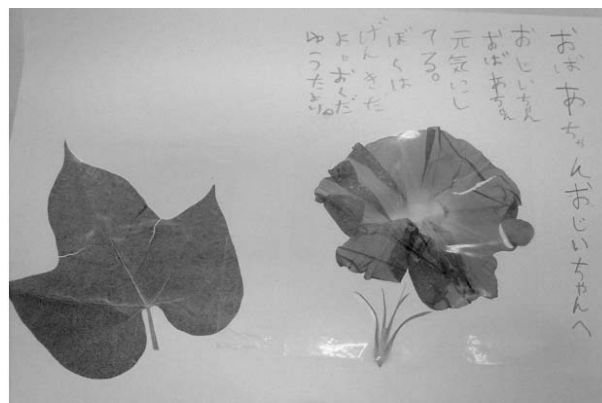
- ・押し花用資材
（押し花用吸水ボード、半紙（1人1枚））
- ・乾燥剤
- ・密閉容器（プラスチック）
- ・サンドペーパー
- ・ベビーパウダー
- ・ハサミ

<押し花のカード、しおり作り>

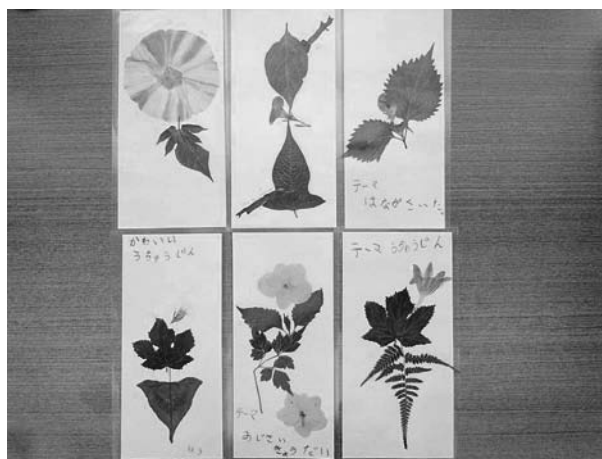
- ・画用紙（A4サイズ1人1枚程度）
- ・ラミネーター（複数台）
- ・ラミネートフィルム
- ・製本用フィルム（透明フィルム）
- ・リボン
- ・穴あけパンチ
- ・ボンド

■ 花材

- ・鉢植えのアサガオ
（花は1人あたり2～3輪、小さめの葉を2,3枚）
- ・予備アサガオ苗
（開花しているアサガオが足りない時に使用する）



押し花を使った手紙



押し花のしおり

【指導内容と目的】

- アサガオの押し花作りを通して、花の美しさや植物の特徴を知るとともに、短期間で失われやすい植物の美しさを長期にわたって観賞できる押し花のよさに気付くことができる。
 - ・栽培活動で育てたアサガオの苗から押し花作りに適当な花や葉を採り、指導者に手順を教わりながら押し花を作る。
- アサガオの押し花をしおりや手紙にデザインして楽しんだり、できあがった手紙を親しい人に送ったりすることで、押し花の活用のアイデアを広げることができる。
 - ・押し花にしたアサガオを用紙にレイアウトしてしおりを作り、押し花のよさに気付く。
 - ・押し花を使った手紙を作り、親しい人にメッセージを書く。
- 子どもが自分で育てたアサガオを押し花にすることで、植物への愛着を高める。
 - ・アサガオの押し花作りを通して、一つ一つの花や葉の違いがあることや、1本の苗から多くの花を咲かせるアサガオの生命力などの気付きを友達と共有する。
- アサガオの押し花作りから、さまざまな植物の押し花作りに挑戦し、植物の多様さへの気付きや、植物や栽培活動へのさらなる興味・関心の高まりへとつなげたい。
 - ・校庭や学校の周辺など、身の回りのさまざまな植物の押し花作り、作品作りへと興味を広げていく。

【対象者への配慮】

- ・実際の作業時間は、小学校の授業時間（45分前後）に合わせる。
- ・説明はゆっくりと大きな声で平易な言葉で行う。
- ・アサガオの押し花の作品例を示すと子どもがイメージしやすく、活動への意欲が高まる。
- ・アサガオは花卉が薄く、破れやすい。花に直接接触するには十分に気を付ける。
- ・花が破れたり咲かなかったりした子のために、開花した苗を複数用意しておく。
- ・出来上がった作品については特徴をよさとして認め、満足感を得られるようにする。
- ・発達の段階を考えると、子どもは最初の押し花は自分のものにしたいと考えるので、「マイしおり」にする。2つめの押し花を使って手紙やはがきを作るようにする。

■ 1.指導計画・スケジュール

時数	学習内容	留意点
1	<p>【事前指導】</p> <p>○押し花作りへの期待感をもつ。</p> <p>○アサガオの花を使った遊び方を話し合う。</p> <p>「色水遊びをしたいな。」</p> <p>「押し花にしたら、花がきれいなままとっておけるよ。」</p> <p>「押し花を使って、しおりや手紙が作れるよ。」</p>	<p>◇子どもの発想を大切にし、アサガオを使ったいろいろな遊びがあることに気付かせる。</p> <p>◇押し花の例を示し、押し花のよさに気付かせ、活動への期待感を持たせる。</p>
2	<p>○アサガオの押し花を作る。</p> <p>・自分の育てたアサガオの花を採り、作り方を教わって押し花を作る。</p> <p>・押し花にするアサガオの花と葉を選ぶ。</p> <p>「大きい花がいいな。」</p> <p>「小さい葉っぱにしよう。」</p> <p>・軸や葉をサンドペーパーで傷をつけ、水分が抜けやすくする。</p> <p>「葉っぱから水が出てきたよ。」</p> <p>・花や葉を半紙にはさみ、乾燥させる。</p> <p>「ベビーパウダーはどれぐらいかけるんだろう？」</p> <p>○次時にできあがった押し花を使ってしおりや手紙作りの計画を立てる。</p> <p>「おじいちゃんに手紙を書きたい。」</p> <p>「幼稚園の先生に送ろうかな。」</p>	<p>◇押し花の作り方や必要な道具や材料を子どもに分かりやすく示す。</p> <p>◇子どもが作り方の説明を聞いていることを確認しながら進める。</p> <p>◇作業手順が正しくできているか、机間指導をしながら確認する。</p> <p>◇作業が終わったら次時の見通しがもてるように、押し花の使い方を話し合わせる。</p>
3	<p>○押し花の「マイしおり」を作る。</p> <p>○押し花の手紙を作って、親しい人に手紙を書く。</p> <p>○他の植物を使った押し花の作品作りを考える。</p>	<p>◇しおり作りには、ラミネートフィルムとラミネーターを使う。</p> <p>◇押し花を製本フィルム（透明フィルム）で台紙に張る際は静電気が起きやすいので大人の支援が必要。</p> <p>◇他の植物の押し花の作品を示し、多様な植物での作品作りに期待感を持たせる。</p>

■ 2.事前の打ち合わせ

- ・押し花にするアサガオの花の開花状況の確認
- ・開花しない場合のアサガオの花の確保
- ・押し花の作り方とできた押し花の保存の仕方の確認

■ 3.当日の流れ

〈押し花を押す〉

①準備

- ・押し花を作るため道具を準備する
(専用の押し花吸水ボード、半紙など)

②挨拶 講師自己紹介

- ・本時のめあてを伝える。
- ・今日の押し花の作業の内容を説明する。
- ・押し花を使ったしおりやはがきなどを示し、
作品のイメージを持たせる



③半紙に名前を書く

- ・アサガオをはさむ半紙には、二つに折った裏側に名前を記入する。

④押し花作りの作業

- ・アサガオの花と葉をつるからとり、表面に雨の後や朝露などの水分がついていたらティッシュで拭き取る。
- ・軸からおしべとめしべを抜き取る。
- ・サンドペーパーに軸をはさみ、軽くこすって傷をつける。

- ・アサガオの葉をサンドペーパーにはさみ、軸と同様に軽くこすって傷をつける。



- ・ベビーパウダーを半紙に薄くまいて、アサガオの花と軸、葉を載せる。
(アサガオの花びらは薄く、乾燥すると半紙に付きやすいので、ベビーパウダーをつけるとはがれやすい)

- ・花と葉と軸が重ならないように配置し、その上から薄くベビーパウダーをかけ、半紙を閉じる。
- ・同じことを繰り返し、一人当たり2、3輪の花を押し花にする。

⑤乾燥させる

- ・専用の押し花吸水ボードにはさみ、ジッパー付きの袋や密閉容器などに入れて保管し乾燥させるときれいに出来上がる。(2日ほど乾燥させればできあがる。)

〈押し花を使った作品作り〉

①準備

- ・作った押し花（半紙にはさんだ状態）を各自に配り、机の上に準備する。
- ・しおりの用紙（アサガオの花がデザインできる程度の細長い紙）、
- ・ラミネートフィルム
- ・ラミネーター
- ・手紙の用紙（A4程度・画用紙がよい）を用意する。
- ・アサガオの花、軸、葉と同じ程度の大きさに切ったラミネートフィルムを用意する。

②挨拶 講師自己紹介

- ・本時のめあてを伝え、作業の内容を説明する。
(しおりの用紙、手紙の用紙、製本フィルムの数などを確かめる。)
- ・自分の押し花を使って、どのようなデザインの作品にするのかをイメージする。
(作品例を示すとわかりやすい。)

③押し花の完成を確認する。

④「マイしおり」を作る。

- ・アサガオの花は薄く破れやすいので、一度決めたらあまり動かさないようにする。
- ・動かないように、少量ののりで花と軸、葉を台紙につけ、名前を書く。
- ・ラミネートフィルムにはさみ、ラミネーターで固定する。
- ・穴あけパンチであけた穴にリボンをつける。

⑤手紙を作る。

- ・手紙の台紙に花や葉の配置を考えてデザインし、のりで台紙につける。
- ・押し花の花、軸、葉の上から製本フィルムを貼る。
(静電気が起こりやすく、繊細な作業になるので、大人が支援する方がよい。)

⑥台紙の空いているスペースに手紙で伝えたいメッセージを書く。

- ・製本フィルムの上からは鉛筆書きができないので、製本フィルムをはる際に、メッセージを書くスペースを十分に空けておく。

⑦メッセージが書けたら挨拶をして終了。